

神奈川県立神奈川総合高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 神奈川総合高等学校 第2回 学校運営協議会
開催日時	令和7年12月5日(金)
開催場所	本校 応接室
出席者	加藤 智恵 テンプル大学副学長 山本 登 神奈川区総務部地域振興課長 篠原 香織 PTA(パートナーズ)会長 井野 雄二 神奈川総合高等学校長
会議資料	資料冊子
	<p>1 校長挨拶 2 出席者紹介 3 議題 (1)本年度の教育活動について 動画での紹介 ・30周年記念式典の様子 ・昨年度のワールドカフェ ・マヌクラ高校ハカパフォーマンス ・フランスの高校生との交流</p> <p>(2)令和7年度学校評価報告書 年度当初に設定した目標達成状況</p> <p>●カリキュラム(福島) 履修者および履修時間の増加を図ったが例年と変化はなかった 学校設定科目について履修者減少傾向</p> <p>Q.加藤 なぜ履修者が減少傾向にあるか? A.福島 →受験に必要な科目を優先する傾向があるため</p> <p>●研究開発・国際交流(中村) ▶ICT機器の導入 おおむね順調だが課題あり テーマや教科横断的に実施できている。 ICTを使うことが目的となっていないか次年度さらに改善が必要</p> <p>Q.加藤 生成AIの利用は横のつながりはあるのか? A.中村 →他校と協議会で共有する場面はある。オンラインで例を学ぶ機会もある</p> <p>▶生徒のグローバル人材の育成について 発信はしているが生徒の予定が合わないことが多い。 教員の人数確保が課題</p> <p>●活動支援(中尾) 企画～運営まで生徒が主体となって行っているため、生徒の行事の満足度は非常に高い傾向にある。</p> <p>部活動に関しても、自己実現の機会が多く活発に行えている。 しかし、多くの役割を抱えている生徒が多く、責任感のある団体のかかわり方を生徒に意識させる必要がある。</p> <p>●学校生活(吉瀬) ▶いじめアンケートの有効活用ができている SSW、SCの利用率も多く、生徒だけでなく保護者も利用できている 各年次において精神的な悩みを抱えている生徒が多い。どういふ対応をしていくか検討の必要がある</p> <p>Q.加藤 教員がどこまで生徒を支援すべきか。教員はメディカルプロフェッショナルではない。SNSのコミュニケーションが主</p>

議事録

体。大学でもオンライン上でハラスメント増加しているが神奈川総合ではどうか？

吉瀬 →神奈川総合でも鍵アカウントでハラスメントはあるが対応は難しい。周囲からの情報提供で発覚して対応している

Q.篠原 SSWの利用率は何のデータから？

A.吉瀬 →126回あるうちの利用回数の割合

▶防災について

神奈川工業と合同防災訓練、ニッ谷小学校では津波の避難訓練が同日に行われた。有事の際に生徒へ防災用品が本当に渡るのか方法について検討している。

Q.山本 帰宅できないという事態に備蓄はどうしているか？

A.吉瀬 →備蓄品は倉庫にて管理している。

Q.山本 有事の際に中高生が避難所にてボランティア意識を高めるような指導はあるのか？

A.吉瀬 →学校では行っていない。

●進路支援(秋月)

インターンシップ、仕事の学び場参加数が昨年度と比べ減少傾向

夏休みが短い、忙しいということが原因にあるのではないか

進路情報はTeamsや暗号化ファイルサーバーを利用して共有できている

Q.加藤 インターンシップはどのようなところに行くか？

A.秋月 →幼稚園保育園、病院、警察、富士通など

Q.山本 インターンシップを行っても実際には大学進学が多いのか？

A.秋月 →大学進学がメイン

加藤 若いうちから親以外の大人とかかわっておくことは大切なこと

Q.山本 神奈川区100周年に向けたイベントを用意。協力してもらえるか

A.井野 →行事や試験との兼ね合いもあるが、依頼があれば協力したい。

●アドミッション(斉藤)

▶文化祭来場者数150%増。広報活動の効果もあるのではないか

暫定倍率 昨年度との比較 普通科微増、国際微減、舞台微増

▶山田 業務の精選、業務内容の見直し

時間外の電話受付対応が教員の負担軽減につながった。

オンラインの職員連絡を効率化、ペーパーレス化

各グループサブリーダーを中心とした会議を実施した。

(3)その他 第3回学校運営協議会について

加藤

神奈川総合とは長い付き合いになる。素晴らしい30周年記念式典だった。

今後もできることは協力していきたい。

山本

行政として普段は小中学生を中心に対応していることが多いが、今後は高校生にも協力を依頼していきたい。

篠原

地域とのつながりが他校と比べ少ないと感じている。

地域活動への参加が増えていくことが防災にもつながっていくのではないか。

次回の開催予定日

3月10日(火) 午前頃